



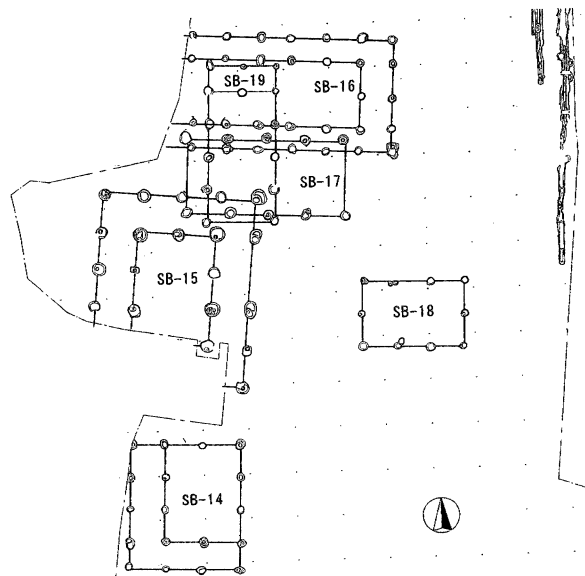
比爪館 第23次・第24次発掘調査報告書 <紫波町教育委員会(平成25年3月発行)>

### Ⅲ 調査成果のまとめ (41頁)

#### 1 遺構 (1) 掘立柱建物

今次で調査した掘立柱建物跡6棟のうち、新旧が判別できるものは少なかったが、唯一、SB-14とSB-15建物跡はまったく重複がなく、他の建物跡との同時存在が可能である。

また、SB-15建物跡の柱穴P1がSK-286の土坑を切っており、この土坑跡から多量のちゅう木が出土している。残り4棟はSB-19が3棟のいずれとも重複しており、これら3棟との同時存在の可能性はない。同様にSB-17はSB-15、SB16建物跡との同時存在がなく、6棟の掘立柱建物跡に関しては少なくとも3時期の存在が考えられる。(以下略)



第6図 掘立柱建物跡配置図(6頁)

### 平成28年度第1回会員研修旅行 無事終わる 楽しい一日でした!

5月29日(日)の東部地域お寺・神社・経塚めぐりは、参加者が14名のため自家用車3台に分乗しての実施でしたが、晴天に恵まれ楽しく充実した研修となりました。

最初の**正音寺**では、住職様が急用で不在のため奥様が本堂内を案内、収蔵庫も開いてくださいました。収蔵庫では「木造毘沙門天立像(県指定)」や「五大明王像(不動明王を欠く)」を目の当たりにしながら、資料に基づき多くのことを学びました。また、「正音寺銅鐘(町指定)」を、特に一撞きさせていただきました。とても、いい音色でした。

次の**常光寺**では、山門前で紫波町最古の板碑「東長岡永仁三年碑(1295)」を見学。資料をもとに刻まれた文字や華瓶を確認しました。本堂では住職様から、常光寺の法系は江刺の正法寺であり、正音寺と兄弟寺であることや、当初は西長岡の長谷田にあったことなど、お寺の歴史や由来を詳しく話していただきました。

続く**八坂神社**では、本会の会員でもある照井宮司様(五郎沼薬師神社等も兼務)が、迎えてくださいました。まずは参拝の礼法を教わり、拝殿では延暦年間からの神社の由緒や牛頭天王社からの神社歴のほか、文久二年(1862)四月十五日に執行した大護摩の参加修験20人のことや、鑄銅製懸け仏が約100年ぶりに戻った話なども伺いました。

午前の最後は、比爪館からみて夏至の頃の日の出の方位にあることで知られる**山屋館経塚**の見学でした。道路から林の中を200mほど下った場所に経塚はありました。西方の新山などの

山並みを眺め比爪一族の宗教施設の広がりを実感しました。説明板を読みながら「ここは移設した場所か、実在した場所は何処なのだろう?」と思いながら車に戻りました。

赤沢公民館では工藤館長様のご配慮で館内で昼食休憩をとり、郷土資料館の見学もできました。

午後は蓮華寺跡と伝えられる場所の**阿弥陀堂**からスタート。車で音高山に上り**白山神社**の社殿の中に入って参拝できました。帰途は多くの方が石段下りに挑戦、佐々木顧問さんも無事完遂。一部の方は**白山経塚**を見学して車で下山し、**赤沢薬師堂**前で合流しました。(次号に続く)



赤沢薬師堂前で参加者一同